

泉川八幡神社のブナ (いずみかわはちまんじんじゃのぶな)

最上郡鮭川村大字川口1794

(案内略図)

鮭川村の南東方向に泉川八幡神社があり、境内に大きなブナ四本がある。樹齢は三百～四百年と推定され、根周り約5m、幹の太さは目通りで約4.5m、樹高約20mあり、昭和63年2月1日に村指定天然記念物に指定されている。

ブナは、落葉広葉樹で通常は高地に棲息しており、泉川八幡神社のブナのよう

に低地にしかも自生しているのは非常にめずらしい形態といわれている。



鮭川村指定 天然記念物 **ブナ**
ここ泉川八幡神社境内に大きなブナ四本は、鮭川村の天然記念物に指定されています。樹高約5メートル、幹の太さは目通りで約4.5メートル、樹齢約200年です。ブナは落葉広葉樹で、葉は広楕円形、五月ごろに開花し、花は淡黄色で、花びらがかい毛でおおわれた短い筒に包まれた三筒形の実をつけます。実はおりの殻に包まれているので、よく食べることができません。山奥に生えるブナは、樹齢を推定することが困難です。ブナは、山毛櫂と並び、ブナを守ることが大切です。 鮭川村教育委員会

【森林やまがた129号(2010年9月)記載】